

真理子先生の

女性のどカク



伊藤 真理子

●(いとう・まりこ) 1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

単純ヘルペスウイルス

今回は季節の変わり目や疲労・ストレスが蓄積した時などに症状が出やすい「単純ヘルペスウイルス」のお話です。

症状は口周辺と性器に

単純ヘルペスウイルスには接触で感染して唇の腫れや口内炎として発症する1型と、性行為で感染し性器に症状があらわれる2型があります。い

ずれも女性は男性より罹りやすく、しかも症状は悲惨です。コンドームを使ってもパートナーに感染することがありますので、特に男性の方には注意していただきたいものです。

また最近はおーラルセックスの影響か性器に症状があらわれる1型もあ

ります。

感染後1〜2週間で症状

感染すると1〜2週間以内に最初の症状が現れますが、中には感染時には目立った症状がなく、何年かして抵抗力が落ちた時に発症する方も。

2型の症状としては性

器に細かい水ぶくれができた後、破れてただれてきます。無数の潰瘍ができると排尿時にしみたり、痛くて動くことも辛くなります。鼠頸リンパが腫れて高熱が出る場合もあります。

抗ウイルス治療が効果的

治療は抗ウイルス薬を

5〜10日間内服するのが効果的ですが、塗り薬もあります。一度症状が治った後もウイルスは神経節に潜み、ストレスなどで再びウイルスが活性化すると粘膜や皮膚に再発症状を起こします。女性の場合は月経の度に再発する方もいらっしゃいま

す。

再発防止の治療薬も

年に何度も再発するという悩みを抱えている人には再発頻度を抑える治療法もあります。抗ウイルス薬を1日1錠内服すると再発率は5パーセント程度に減り、また体内のウイルスを抑えてパートナーに感染させてしまう危険性も減ります。口唇ヘルペス再発予防にも効果的です。

五月病で疲れが出たら唇が…

